

教育の窓



潮見小学校

小さな学校だからこそできる、 でっかい学びがあります！

本校の子どもの数は10名です。小規模校には、メリットがいっぱいあります。一人一人にあった指導ができ、異年齢の子どもたちが日常的に関わる中で社会性の基礎を培うことができることなどです。また、地域には自然や文化、地域の方々など、子どもの教育に必要なものや人たちがいっぱいです。

以下に本校の特色を紹介します。

授業 一人一人にあった方法で鍛えています

1時間の授業の中で、どの子にも発言の機会があります。宿題も、その子にあった内容を設定することができます。マンツーマンで見届けができるのです。どの学校でもめざしている「できるまで、わかるまで」を、この学校の良さを生かした方法で学んでいます。

体験 自然や文化、人から実感的に学びます

全校の子どもたちが、個人テーマを設定して研究する「山びこ学習」を行っています。素材はもちろん地域の自然。インターネットや本も利用して調べますが、地域の方からも教えていただいています。このことでものかかわり方も学ぶことができます。このほか、“社会科で地域の自慢を調べたり、国語で地域のパンフレットを作ったりする”など、地域を教科書として学んでいます。

仲間 互いの良さを知り、温かくかかわり合います

社会に出ればあたりまえの異年齢のかかわりが、本校では日常的にあります。上級生は下級生を思いやるお兄さんお姉さんとして、下級生は上級生を手本として、家族的な雰囲気の中で学んでいます。

自慢 世界チャンピオンから学ぶ伝統の一輪車

平成15年度から元世界チャンピオンの小山美由紀先生の指導を受けています。一輪車の演技には、個人の技能と集団のまとまりの2点の向上が求められます。子どもたちは、自分の目標を設定して真剣に取り組みます。集団演技向上のために、仲間同士、励まし、声を掛け合い、演技を向上させています。仲間と共に達成感を味わえるのがこの活動の魅力です。

潮南高原の地で、子どもたちはキラリと光る生き方の基礎を育てています。

教育委員会

文化財の指定「宝蔵寺の山桜」

教育委員会では文化財保護審議会の答申を受け、久田見野黒地内の山桜を文化財（天然記念物）に指定しました。この桜は約300年前、この地にあった宝蔵寺（庵）に、縁のあったお姫様が出家して尼僧となり、名を「房姫様」と呼ばれていたことから、この地にあった山桜も「房姫桜」と呼ばれるようになったと言われています。

地元では以前から宝蔵寺の総代の方が中心になって、桜への進入路の整備や、周辺の木々の伐採など環境整備に努め、開花時期にはライトアップをするなど熱心に保存活動を行ってまいります。

今回の文化財への指定により、地域の歴史を物語る貴重な名木として、後世へ保存を図っていきたいと思います。



ファミリーセンターロビーのリニューアル

たくさんの方に親しまれる公民館を目指してファミリーセンター1階ロビーに雑誌コーナーを設けました。「東海ウォーカー」「KELLY」「AERA」「おとなの週末」などの情報誌や「オレンジページ」「きょうの料理」などの料理本、「婦人画報」「LEE」「MEN'S CLUB」などのファッション誌、さらには車情報誌、アウトドア誌、スポーツ誌など、約30冊の最新号がご覧いただけます。（バックナンバーは図書室にて貸出しを行っております）

雑誌の閲覧だけでなく、学習・歓談・待ち合わせ場所として是非ご活用ください。



雑誌コーナー



ロビー